

# 第1回 鳴門市まちづくりデザイン会議を開催

〔 日時：令和7年3月24日(月) 13時～15時  
場所：鳴門市役所 2階 大会議室 〕

街を元気にするために、何が必要か、どうすべきなのか、オープンな場で議論・検討する場として、初めて開催されました。

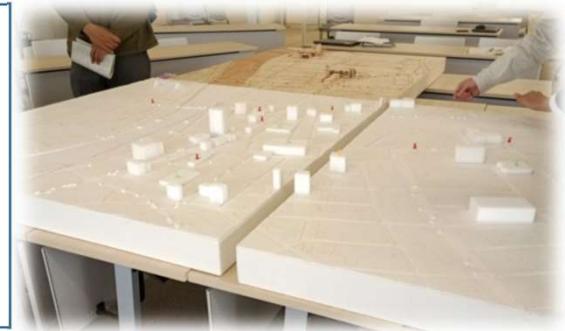


## 本会議のあり方・運営等

- デザイン会議という名前だが、経験上、**全部色々関わってくる**。ここでの議論がとても大事になる。
- **変化が激しい時代、まちは今までこうやってきたけど、このままでいいのか**というのは、すごく大事な問題
- **しっかりしたものを、次の世代に受け渡していくことが、この会議の大きな役割**。
- 座長は内藤廣氏。座長指名により森下委員が副座長に就任。会議の公開原則・議事録作成方法を確認
- 分野ごとの検討や作業が必要な場合には、専門部会を設置して検討を進めていく。
- この会議は、言いたいことを言っていきたい会議。こんな街にしたいとできるだけ発言する会議。

## 各委員の抱負

- 公共交通とまちづくりというのは一体的なものであり、本会議等を通じてより良い形ができれば。
- 公共交通やまちづくりはすごく重要なこと。ちょっと力が入っている。一生懸命やっていきたい。
- 鳴門が一番栄えた時代に鳴門から恩恵を受けた。これから先どうやっていくか、皆さんと一緒に考えたい。
- まちの状況が寂しくなっているが、仕事も個人の生活も全て繋がっている。希望をもって参加したい。
- 随分ちょっと寂しいまちになったとは思っていた。子どもたちに残せるものが、あればいいと思っている。
- 建築士会では、若手にまちづくりに参画しているメンバーがいる。巻き込みながら進められたらいい。
- このままでは良くない。鳴門の顔がない。次世代に向けて、何が残せるのかを一緒に考えていきたい。
- いつか帰りたいと思えるまち、中学生がまちに行けば誰かいるかなあと思える街なかにしていきたい。



## 市街地の現状説明（事務局、配布資料は別添のとおり）

- 現在の中心市街地、市街地形成の歴史、中心市街地状況図、用途区域、市の将来計画
- 人口の推移・減少率、年齢別人口、小学校の生徒数の推移、鳴門駅のデータ、鳴門駅交通模式図、公共交通利用状況、路線価の推移、土地利用状況
- 中心部の問題点、高校生意識調査、市街地に何が必要、先進事例(周南市・西予市・敦賀市・日向市)
- 会議の目的・体制、会議ロードマップ案、次回会議に向けた基礎調査案

## 本会議のロードマップ

- 第2回を6月、第3回を夏～秋を目標に予定
- 次回は課題の意見交換、その後、事業抽出  
プランニング検討検証、事業計画を取り出す
- 第3回あたりで少し目途を立てることを目標

## まちを繋げる / 面白い場所を作る

- 淡路も大鳴門橋もかなりの交通量なのに対し、市街地・商店街は土日もあり人がいない。**交通・道・駅が変わっていった方がいいのではないか**。
- 国道と谷通りが線路で分断されてる。ここが変われば人の流れが変わる
- 鳴門は持ち物がたくさんあって恵まれているが、うまく繋がっていない。**まちなかに面白さが出てきたら、もっと人が回るようになる**。
- 谷通りと国道が繋がったら市街地通行量が増えるとのデータがあった。
- 綺麗な街を作ったから、商業が賑やかになるとは限らない。面白い場所ができて、ごちゃごちゃしてるところから、賑わうってということもある。**綺麗な街にすると活性化するというのは幻想。商業は難しい**。

## 人のたまる場所がない

- **今の中心部には人がたまる場所がない**。コンビニもランチ食べる場所も
- 魚が食べられる場所など、人が集まっている場所はある。ただ点在してる。
- **街なかに高校生がいない理由は、「たまる場所がない」から**。インターンの高校生に「鳴門市で一番好きな場所は？」と聞くと、殆どが「家」と答える。帰るところは見ても、たまっている場所は見たことがない。
- **のび太君が集まる土管ではなく、空調の効いた皆でしゃべる場所が必要**
- **若い人がみんな出てくるみたいな感じが出てくると、街の空気が変わる**。
- 公園はあるが、中心から離れている。街の中心となるべきところにパワースポットをおけば、若い人たちが、集まってくれるのではないかと。



### まちなかを使い倒す

- イベントには、**凄いエネルギーとそれをうまく引き出せる場所が必要**。
- 日向市駅の場合、無理して広場を作ったが、キーパーソンがいて、年間70回イベントをやっている。民間から動きが出てきて行政もサポートして創意工夫で盛り上げていく仕組みがないと、場所だけ作っても空いたままになってしまう。今後、**エリアマネジメントが必要**になってくる。
- 公共空間でエリア価値の向上を視野にマルシェをされる方がいる。**この街を使い倒す人との連携が大事**。

### 駅からはじまるまちづくり / バスとまちづくり / 若い人に元気を出してもらおう

- 高松や松山が目立つが、鳴門と同じように多くの街から、JRとの連携による活性化の話が寄せられている。
- 駅周辺で、定期的に、イベントがあれば、公共交通を使う方も出てくる。是非、駅をまちづくりの中で活用して欲しい。
- **鉄道があることによって、ほかの町と繋がってるっていうイメージを持てる**。そこが大事。車では持てない。
- 駅前に高校生とか中学生がフリーで使えるようなWi-Fiがあったり、宿題ができたり、**みんなが集まっておかし食べれるようなところを作れば、駅前に賑わいが出てくる**。
- 今、鳴門公園までは、関西から多くの観光客が来ており、バスに関しても、鳴門公園から鳴門駅間、便数を増やしている。キャッシュレス対応にも取り組んでいる。他の**観光施策とか全て絡めてまちづくり**する必要。
- **駅に自分がいる場所があったら最高**。待ち合わせ、汽車・バスを待つ、話をする、コーヒーを飲む、絶対必要
- 学生とインバウンド、両方を狙うのもありだが、難しいけれどもターゲットの絞り込みは大切
- **若い人に元気出してもらわないと街の将来はない**。どうやったら、彼ら励ませるか。

### 地方都市の挑戦 / 土地の流動性

- 塩田廃止以降、本市でも郊外店舗ができ都市化が進んだが、勢いは止まり、**街なかガスポンジ化**している。
- 地方でも、駅を核として頑張ってる所は、**駅を乗る人だけのものとせず、人が集まる機能を実装し、仕掛けをし、周辺も元気づくよう工夫**している。
- 用途地域が変われば、床を作ったらどうにかなる時代ではない。機能を絞り公共が、民間や中高生が振り向くような賢い仕掛けに挑戦する必要がある。
- 駅周辺の不動産は、地価の高い時に取得された方が県外や近くに生まれ、地価が下がった後もそのまま持たれている。シャッター街が出来るパターン。
- **真ん中の方を動かしてるっていう空気が流れてくると変わってくる**。

### まちづくりへの機運 / 駐車場 / 道と公園

- 何でもあって恵まれているから何もしてこなかったのかもしれない。周辺の賑わいがある分、**中心部の寂しさに対する危機感**は昔より高い
- **市街地に駐車場が多い**。ただ大半は店の駐車場でコインパーキングがない。車社会なのに止める場所がない。議論していくべき課題
- 一方で将来の車利用は減ってくる。長いスパンで見ると、セカンドモビリティ・オンデマンド化の流れがやってくる。両方を踏まえるべき。
- 市内周辺部に人が来ているのに真ん中に来ないのはもったいない。**人の住んでいる様子が見える街中になれば、すごく魅力的に映る**はず
- 道を歩きたくなる仕掛け、文化会館・公園・駅を繋げる軸線を大事に。

### おすそわけ / まちの未来を語る

- 街の人がこの街をこういうふうになりたい。来年実現するか、10年後か、30年後に実現するかわかんないけど、**みんなが思ってるものは実現する**。
- いい映画を見たかったら映画祭をやる、うまい酒を飲みたいと思ったら作る。**まず自分たちがいい生活をする。それを見に来るのが観光。おすそわけ**。
- こんな街にしたい、力を貸してくださいと語れないと協力は得られない。

### 今後の検討・議論の方向性

- 次回に向け、若い世代の意見を集め、交通量調査を行い報告する。
- 活手法や制度等の調査を進め、次回会議に報告する。
- 次回は、具体的に駅周辺に絞って、議論を進めていく。

§ 次回は、6月13日(金) 午後1時30分～ 市役所2階大会議室で開催の予定